

ステップアップを目指す 森林文化アカデミー

岐阜県立森林文化アカデミー
篠田 善彦

●はじめに

岐阜県立森林文化アカデミーは平成13年に創設され、順調に発展してきました。3月5日には第10回の卒業式を挙行し、クリエーター科13名とエンジニア科26名が卒業しました。10年間でクリエーター科155名とエンジニア科190名の計345名を社会に送り出しました。卒業生は林業や森林文化に関する分野で大いに活躍しています。アカデミーは創設期を無事終え、社会で広く認知されたと思います。これからはさらにステップアップして成熟期として発展していきたいと願っています。

●専修教育・学習部門

昨年度からの教育体制をさらに見直し、クリエーター科は林業再生講座、木造建築講座、ものづくり講座、山村づくり講座そして山村づくり講座内に自然体験活動指導者・インタークリエーター養成コースの4講座と1コースとしてスタートしました。それぞれの分野のスペシャリストの人材を養成します。エンジニア科は森林・林業に関する知識や技術を幅広く学べるように実践教育を重視したカリキュラムに変更し、即戦力となる技術者を養成します。なお、教員の異動ですが、ものづくり講座の山口博史先生は3月31日付で退職され、オーストラリアへ行かれました。その後任に若さ溢れる国際感覚を持った和田賢治先生が赴任されました。「木工を通してまちづくり」をテーマに、まちの発展とそこに住む人々の心豊かな暮らしを求めて、木工の新たな役割とまちとの関わりを研究されます。

●短期技術研修部門

短期技術研修部門は森林・林業再生プランの人材育成の柱となる施設プランナーの養成のため、施設プランナー研修を基礎研修、技術維持研修そして指導者研修として内容を充実させました。社会の要望に応えてアカデミー独自の研修も実施し

ています。

●生涯学習部門

生涯学習講座は出前講座として高山市と中津川市で木育クラフト講座を実施します。また、連続講座やステップアップ講座も行い、県民に幅広く森林文化を伝えていきます。

●美濃市と連携協定

森林文化アカデミーは3月21日に美濃市との間で連携に関する協定を締結しました。この協定は両者が多様な分野で包括的に連携・協力し、地域社会の発展と人材養成に寄与することを目的としています。



▲様々なプロジェクトを通して地域と密接につながっています

●おわりに

森林文化アカデミーは川上から川下まで林業、森林文化に関する教育研究を行っています。いろいろな機関との連携協力も進め、地域との連携を深めています。教員は17名で、林業、山村づくり、里山、環境教育、ものづくり、木育、木造建築等多彩な専門分野の優れた教育研究者ばかりです。

バラエティに富んだ科目や各種一般向け講座をそろえ、教職員一同、学ぶ意欲にあふれる皆様方のご入学等をお待ちしております。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL(0575)35-2525 森林文化アカデミーまで